



大阪の元気!ものづくり企業



大阪府知的財産部門賞

資料1

「大阪ものづくり優良企業賞 2022」受賞企業への 豊田政男審査委員長メッセージ

『大阪ものづくり優良企業賞』は、大阪の中小企業にとって評価を受けることが企業価値を高め事業展開の励みとなることにつながり、顕彰の継続に取り組んできて、今回で14回目を迎えることができました。今回の募集では、審査の結果、「優良企業賞」54社、「知的財産部門賞」9社を選定しました。

また書面審査で評価の高かった企業を対象に、企業訪問とプレゼンテーション審査を行い、「最優秀企業賞」1社、「技術力部門賞」1社、「審査委員特別賞」4社、「夢・未来・ORIST賞（(地独)大阪産業技術研究所理事長賞）」1社を選定しました。

今回の最終審査には、窯業・土石製品製造業、生産用機械器具製造業、印刷・同関連業、輸送機械器具製造業、非鉄金属製造業、電気機械器具製造業など様々な業種の企業が候補企業としてノミネートされましたが、最終的に審査委員全員の合意により、カーボン素材を起点とした様々なソリューションにより顧客の課題解決に貢献する高い技術力と、コロナ禍の事業環境をも成長に繋げる成長志向が高く評価された1社を「最優秀企業賞」としました。また、「最優秀企業賞」と甲乙つけがたい5社のうち、特に技術力が高い1社を「技術力部門賞」、また、今後の発展が期待される4社を「審査委員特別賞」に選定しました。

これらの企業は、高い技術力とISO認証に基づく品質管理でガラスびん金型の国内トップシェアの実績を誇る企業、世界初の独自の洗浄液と洗浄機で従来の金型メンテナンスの手法に一石を投じた企業、業界最大級の設備によるスクリーン印刷だけでなく、導光板の新たな用途活用にも熱心に取り組む企業、生産管理のDX化に取り組み、QCDの水準に厳しい自動車業界で長年信頼を勝ち得てきた企業、これまで培ってきた鋳物技術と、女性が活躍できる作業環境の改善等「人財第一」の理念で業界を牽引する企業です。

技術に未来を感じる企業を賞する「夢・未来・ORIST賞」には、国内初の昇降機能付き製図台の製造を転機として、優れた独自の摺動機構を活かした電動昇降座椅子等の自社製品開発に取り組み、医療・福祉・介護といった今後ますます深刻化する社会課題の解決に貢献する企業1社を選定しました。

今回の審査を通じて、新型コロナウイルス感染症によりものづくり企業を取り巻く環境が大きく変化する中で、これまでの経験で培った技術の応用や創意工夫により新しい展開に挑む大阪ものづくり中小企業の姿勢を見て、「大阪のものづくり」の卓越した技術力と新たな展望を切り開くたくましい姿を感じることができました。

14回目を迎えた当顕彰事業は受賞企業の数も900社となりました。毎年多くの企業が選定されていることは、大阪府内にまだまだ優秀で意欲の高い中小企業が潜在的に存在し活躍していることの証でもあり、本賞の審査の意義も改めて感じられました。

新たに受賞した企業54社には、「大阪のものづくり看板企業（匠企業）」として、ますますの発展を確信するとともに、我が国のものづくりの牽引役として、その持てる技術力・企業力をより一層発揮され、更なる活躍を期待しつつ、受賞されました各企業さまに心より祝意と敬意を表します。

大阪中小企業顕彰事業審査委員会 審査委員長 豊田 政男

(大阪大学名誉教授)